

塾山

川内小学校の裏にある山の呼称。昔、その一角に青少年の生活の訓練や精神の陶冶を図ることを目的とした修道塾が建てられ、川内小魂の根源を醸成する教育が行われていた。



【昼休み異学年交流ドッジボール】

一緒に心の灯を育ててください

校長 中川路 和孝

新しい年が明けました。明るく元気に登校してくる子供たちにとって、今年もよい一年でありますようにと願いながら朝の挨拶を交わしました。どの子も楽しい冬休みを過ごしたようで、にこにこ笑顔で登校してきました。中には、「校長先生、おはようございます。今年もよろしくお願いします。」と、賀詞交歓会ばりに丁寧な挨拶をしてくれる子供もいました。

登校指導を終え、校内を巡回しているとA君が後ろからついてきました。何か物言いたげなA君に、「おはよう。」と声をかけると、A君が照れくさそうに、「弟が生まれた。」と教えてくれました。続けて次の日曜日にお母さんと弟が帰宅するということも話してくれました。A君の胸の内にある嬉しい気持ちを誰かに伝えたい、伝えたい誰かの一人に私を選んでくれたことをとても嬉しく思いました。

A君と別れた後、Bさんが前方から歩いてきました。私の前で立ち止まると、「今日は、Cさんの誕生日だよ。」と教えてくれました。「でもね、Cさん今日は休みなんだ。」と、少し寂しそうでした。

いつも物静かなD君が、ある日の昼休み、校庭にいた私の背中に手をかけおんぶをせがんできました。思いがけないD君の行動に動揺しましたが、おんぶをしてあげると嬉しそうに私の背中に顔をうずめました。お互い一言もしゃべりませんでした。D君のぬくもりを感じました。しばらくおんぶをした後、D君は何事もなかったように近くにいた友達の輪の中へ入っていきました。他愛もない出来事でしたが、ほんの少しのやすらぎを与えることができたことに大きな幸せを感じました。D君に限らず、川内小の子供たちにとって、いつもやすらぎや癒しを感じてもらえるような存在でありたいとあらためて思いました。私にとって、川内小の子供たちは家族にも似た存在になっています。いつも家族のように接してくれる子供たちがとても愛おしく思えます。

さて、これまで私が経験してきた小学校の多くは、学校規模は大きくても同じ保育園・幼稚園からの入学者が多く、子供たちも保護者も入学前から交流があったり、少なくとも顔見知りであったりという状況がほとんどでした。川内小に入学してくる子供たちは、20園を超える保育園、幼稚園から入学してきます。特認校制度を活用した平佐西小校区の子供たちや隈之城小校区の申し立て地区などから通う子供たちも50人以上います。もともと川内小学校の校区であっても、向田や宮里では地域性も大きく異なります。子供たちは、入学してから初めてかかわりをもつ同級生や学年が上がって初めてクラスメイトになるケースもあります。ですから、毎年、クラスにおける自分のポジションや居場所を確保するために、子供たちは子供たちなりに苦労したり工夫したりしています。時には喧嘩をすることもあります。それでも折り合いをつけながら明るく楽しく学校生活を送っています。

毎日顔を合わせる子供たちでさえ人間関係を作るのに時間がかかる訳ですから、当然、保護者の皆さんが人間関係を築くのは容易なことではありません。同じクラスの保護者であっても、顔は知っているけど名前を知らない。子供の名前は聞いたことがあるけど、どの人が親なのか分からないという状況なのではないかと思います。そうなると、必然的にPTA活動が円滑に進まないという事態になります。最近では、PTAは必要ないという議論もありますが、川内小の現状では必要です。私は、学校の経営者として、PTAが活性化することは子供たちの成長に大きく寄与すると考えています。担任と保護者、保護者同士が互いに互いを知り、協力しながら子供たちに関わっていくことで日々の教育活動がより一層充実したものになると考えています。

本年度は、子供たち同士、担任と保護者、保護者同士、地域の皆さんとの人間関係をより一層強固なものにできないかと考え、意図的にPTA行事を実施していただきました。「子供大綱引きの日に昼食を準備していただいたこと」「はんや祭りへPTAと地区コミで合同参加したこと」「PTAの餅つき大会」「子どもフェスティバル」などです。子どもフェスティバルに協力していただいた実行委員の方にとったアンケートの一文が心に残りました。「活動を通して一体感を感じました」と。幾つかの行事を通して灯った小さな川内小コミュニティの灯りを大事に育てて、もっともっと大きくて力強い炎にし、子供たちを明るく照らしていきたいと思います。今年も一緒に心の灯(ともしび)を育ててください。



門松作り ありがとうございました



今年も12月29日(日)に地域の堀田会の皆様に門松を設置していただきました。堀田通り子ども会、堀田通り青年会が主体となり、みんなで力を合わせ、手際良く門松が作られていきました。堀



【門松の設置】



【堀田会の皆様】

田会の皆様の「川内小のために」という思いには、本当に感謝するばかりです。明るく、前向きに作業を進める姿を見て、門松作りが毎年続いている理由が分かったような気がしました。おかげさまで川内小学校も立派な門松と共に、よい年を迎えることができました。本当にありがとうございました。

小中一貫教育 ～小6、中1との交流～

川内小学校と川内中央中学校では、小6と中1の交流を5月と1月に行なっています。中学生が小学校に来て、中学校生活などについて教えてくれます。5月は、中学生から綱引きのコツを教わりました。1月は、薩摩川内市を良くするためにはどうしたらよいかについてプレゼンテーションを作り、意見交流をしました。交流をしながら、中学校の様子などを聞くことができました。

2月には、入学説明会もあります。先輩の姿を見て、6年生も入学の心構えが出来てきたようです。



【中学生との交流】

クリスマス読書会～子どもの居場所作りきずな作り～

親子読書サークル「ぼっぼ村」の皆様が、川内小の児童のために、毎月、朝の「読み聞かせ」の時間にボランティアで読み聞かせを行なっています。今回は、クリスマスのイベントとして、12月25日(水)に読書会を開催しました。児童に本の読み聞かせ、お話をしていただき



【お話の様子】



【校庭で宝探し】

ました。20名をこえる児童の参加があり、読書会、ゲームなどを楽しみました。

読書は、豊かな人間性を培い、生涯にわたって活用することができる自己教育力を養うことができます。たくさんの方に協力をいただき、さらに読書好きな児童の育成に努めて参ります。

2月の行事



月	日	曜	行 事 等	月	日	曜	行 事 等
2	6	木	新1年生半日入学・入学説明会	2	18	火	移動図書
	8	土	10歳を祝う会(4年生)		20	木	川内中央中体験入学・入学説明会(6年生)
	13	木	仲よし作品展(～21日)		28	金	授業参観、学級PTA 特別支援学級閉級式